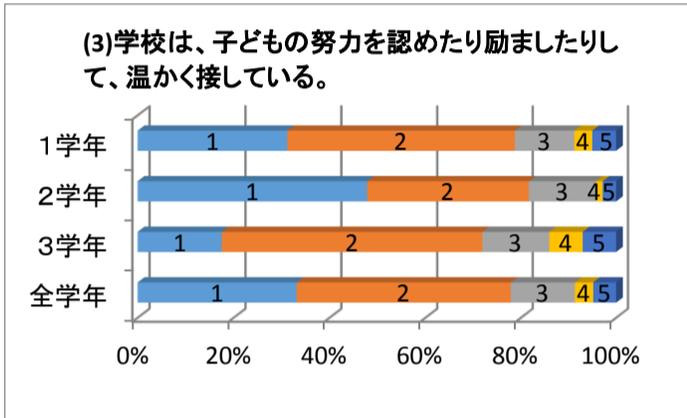
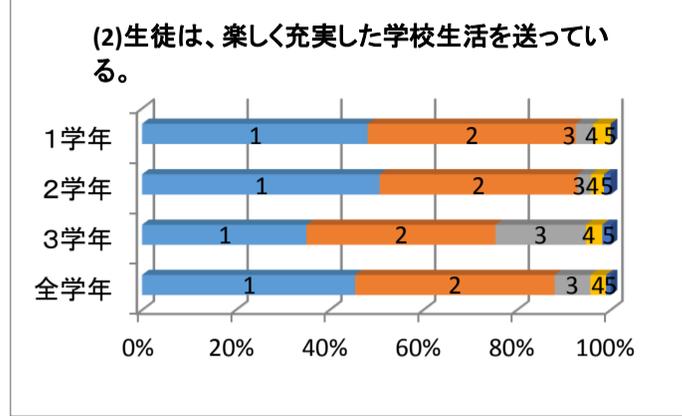
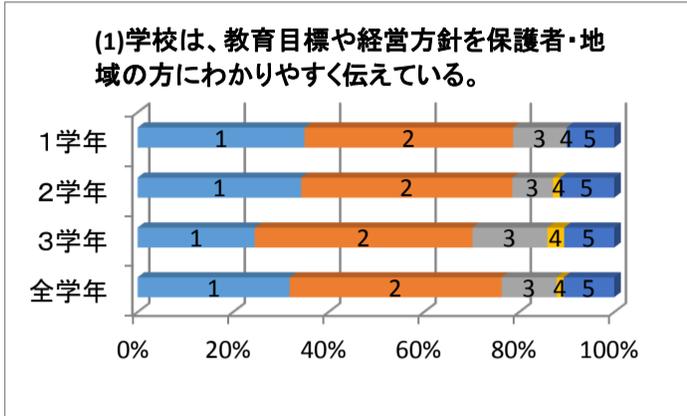


# 平成27年度学校評価アンケート(最終まとめ)

先ほど協力いただいた、学校評価アンケートの集計がましまりましたので、結果を報告させていただきます。回答率は98.7%でした。お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。今回の結果をこれからの教育活動の改善に活かしてまいります。

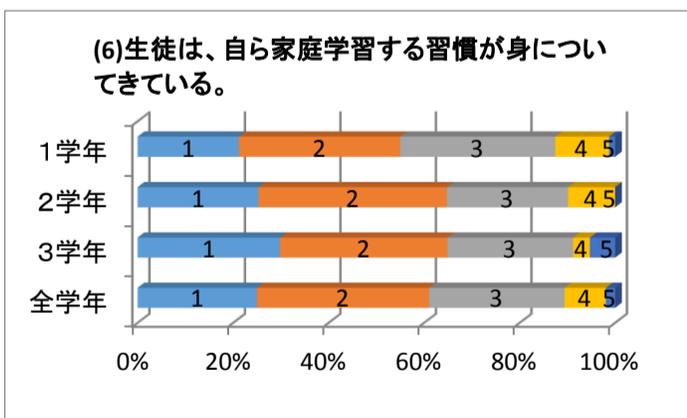
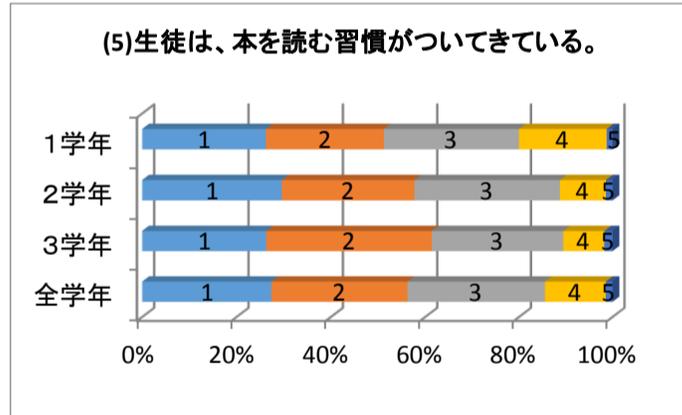
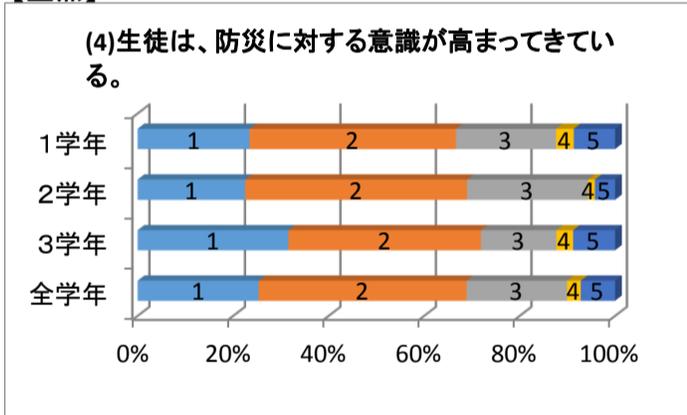
1: そう思う 2: ややそう思う 3: あまり思わない 4: 思わない 5: よくわからない

## 【全体】



[分析](1)の「教育目標や経営方針」については、2学年の「そう思う」の割合が昨年度よりも高い。一方、どの学年も「よくわからない」の割合が昨年度よりも高いことから、機会あるごとに目標や方針を丁寧に伝えていく必要がある。(2)の「学校生活の充実」は全学年で80%を超えており、生徒の学校生活への満足度は高いことが分かる。3年生が若干低く、最上級生への指導目標の高さが要因と考える。(3)の「生徒への努力への受容、励まし」については、学年によるばらつきがあるものの、全体としては70%を超えている。学習指導では少人数指導やTTによる指導、教育相談等を通して丁寧な対応が評価されたと考え

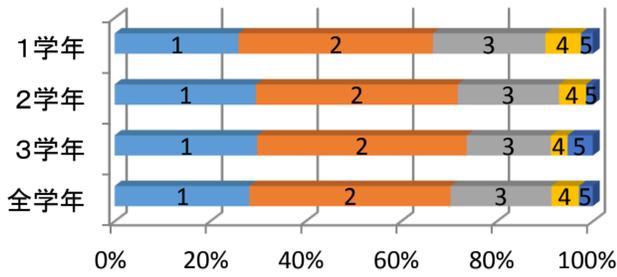
## 【重点】



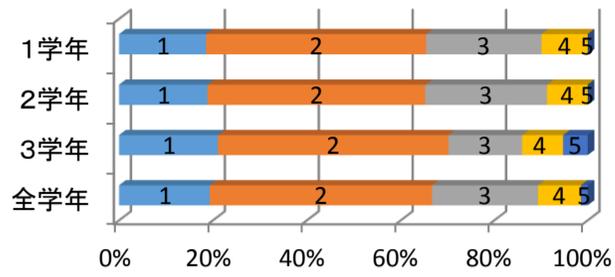
[分析](4)の「防災への意識の高まり」については、一昨年度・昨年度と継続した取組を行っている2・3学年については意識が高い。防災ジュニアスタッフの育成を継続するとともに、防災ノートを活用し意識を高めていく。(5)の「読書習慣」では、肯定的な回答の割合が昨年度と同様に、全体で60%を下回っている。3年間で10000ページを読む取組や朝読書の継続、学校図書館司書と連携した読書の推奨や家庭における読書時間の充実などを呼びかけ、読書の楽しさをさらに伝えていく。(6)の「家庭学習の習慣」については、2・3学年の肯定的な回答が昨年度よりも高い。しかし、全体としては60%を下回っている。引き続き、課題の内容や提示の方法を工夫しながら、家庭学習の習慣を付けさせる指導の工夫を図る。

【学習】

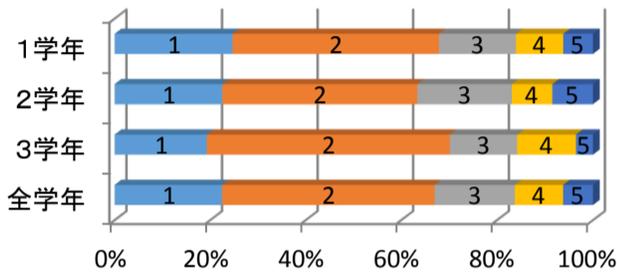
(7)生徒は、学習のルールをきちんと身に付け、  
落ち着いて学習している。



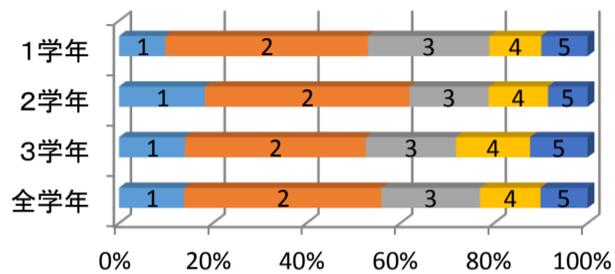
(8)生徒は、基礎的・基本的な知識や技能が習  
得できている。



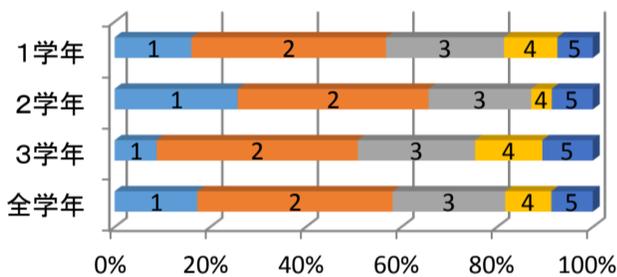
(9)学校は、宿題や課題を適切に与え、家庭学  
習が充実するよう工夫している。



(10)学校は、放課後や長期休業中に補充学習を行  
い、一層の基礎的な学力が身につくようにしている。



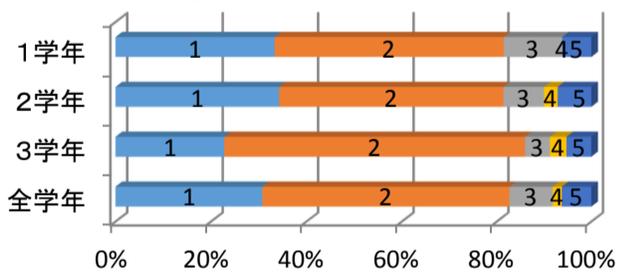
(11)学校は、生徒の学習の評価を適切に行い、  
個に応じた指導を進めている。



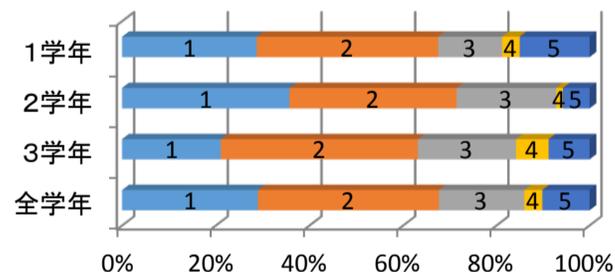
[分析](7)の「学習のルールの定着」については全体の肯定的な回答は昨年度並である。どの学年も授業規律遵守の指導を徹底した。(8)の「基礎的・基本的な知識・技能の充実」は、2・3学年ともに「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が昨年度よりも高い。授業改善推進プランに基づいた指導を充実させる。(9)の「宿題や課題の適切な与え方」については昨年度よりも「思わない」の割合が高い。(6)の結果とも関連させ学年の特性に配慮した家庭学習の指導を進める。(10)の「補充学習」については肯定的な回答が50%を若干上回る程度と高くはないが今年度は長期休業中に大学生のチューターを活用し講義形式の補充学習を行った。今後も学力向上につながる補充学習の体制をとる。(11)の「適切な評価と個に応じた指導」では1・3学年の否定的な回答がやや多い。引き続き「評価・評定」の説明や教科指導における評価方法の説明を行う。

【道徳】

(12)生徒に、人を思いやる優しい気持ちが育っ  
てきている。

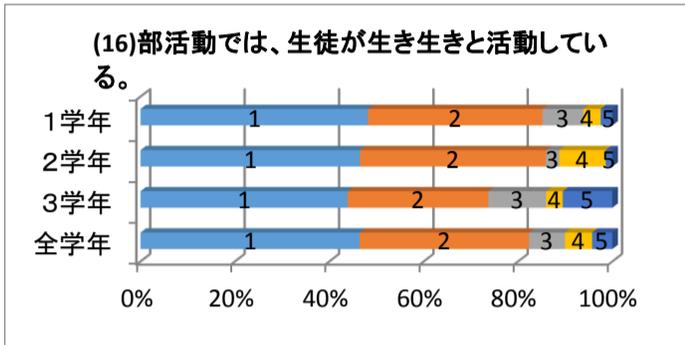
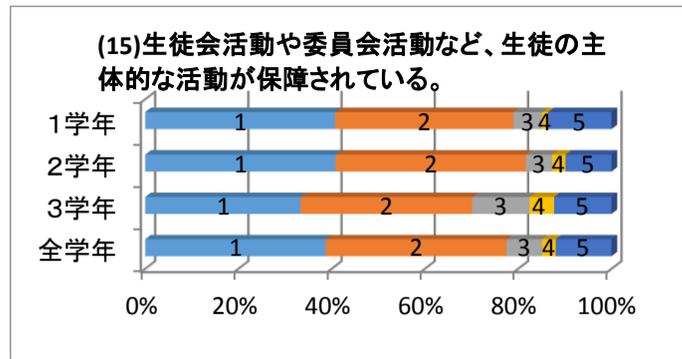
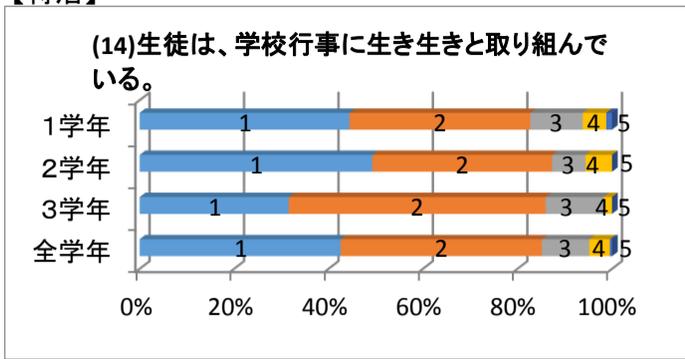


(13)学校は、子どもの人権を尊重する姿勢を  
持って教育活動に取り組んでいる。



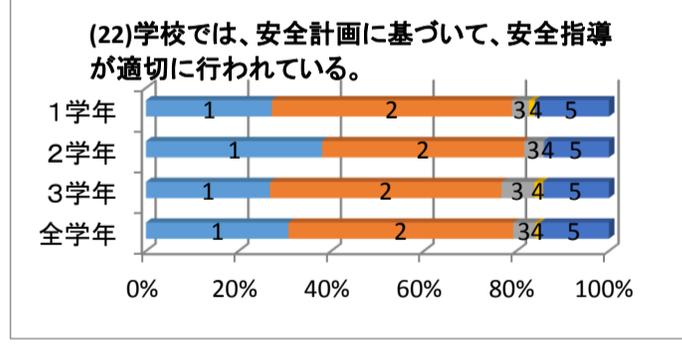
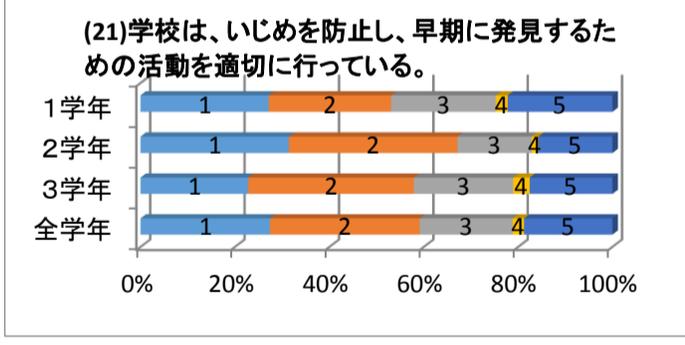
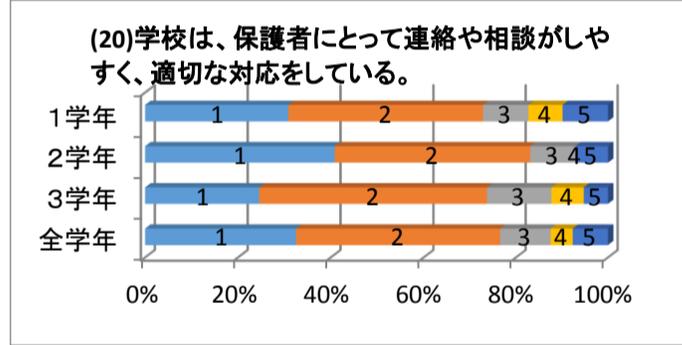
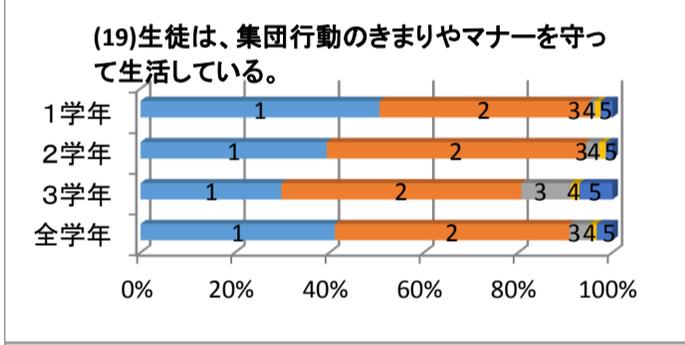
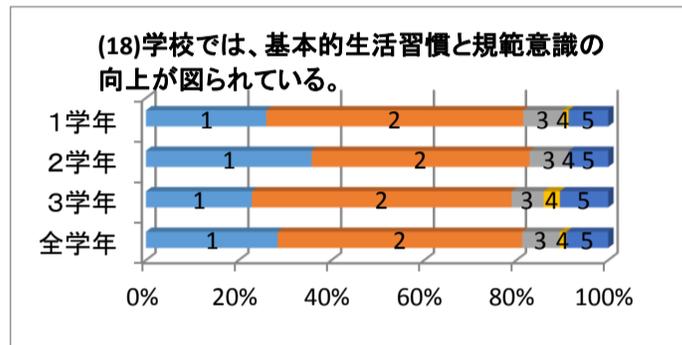
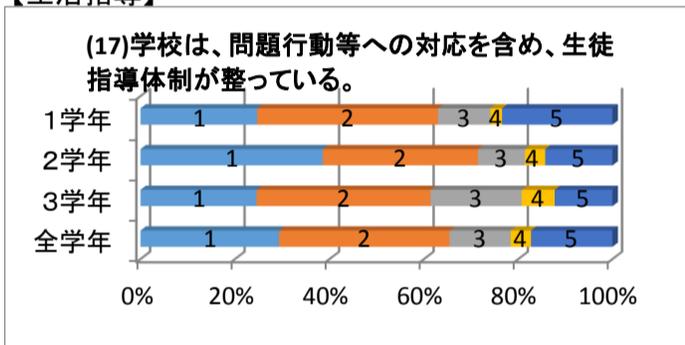
[分析](12)の「思いやる気持ちの育成」については肯定的な回答が83.1%と高い割合を示している。道徳の時間を要して、豊かな心を育む指導の成果と考える。(13)の「人権教育」については全体で70%近くが肯定的な回答をしている。教育活動全体において人権尊重に重きをおいた指導を推進する。

【特活】



〔分析〕(14)の「学校行事」の全体での肯定的な回答が86%、(16)の「部活動」については、全体での肯定的な回答が83.1%で、昨年に引き続き満足感を与えていると考える。今後も個性を育む指導に努める。(15)の「生徒会活動・委員会活動」については、肯定的な回答が80%を若干下回り、「よくわからない」という回答が昨年度より増えた。生徒会の「ひじき運動」(携帯電話やスマートフォンの適正利用への強化の取組)やノーチャイム運動等の具体的な取組を家庭にもっと周知していく必要がある。

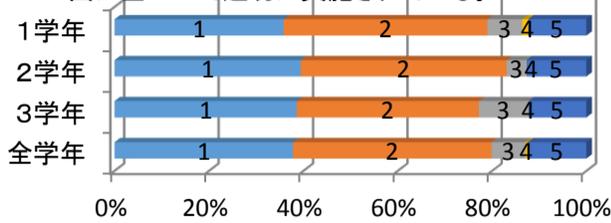
【生活指導】



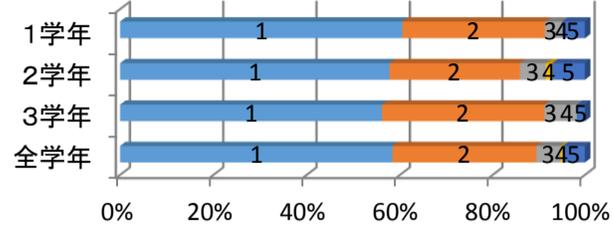
〔分析〕全体の肯定的な回答は(17)の「問題行動への対応」が65.7%、(18)の「基本的な生活習慣と規範意識」が81.6%、(19)の「集団行動のきまりやマナー」が91.7%と昨年度よりも高い。生活指導は全体的に良好な状態で教職員の共通理解のもとでの丁寧な対応の成果と考える。(20)の「連絡・相談」では肯定的な回答は昨年度並みである。(21)の「いじめ防止」については、「よくわからない」という回答が昨年度よりも低い。アンケート調査について保護者への周知を行う。一方、携帯電話やスマートフォン等の適正利用について指導の徹底を図る。(22)の「安全指導」では適時適切な指導に努め

【保健】

(23)学校での保健行事や健康教育は、保健計画に基づいて適切に実施されている。



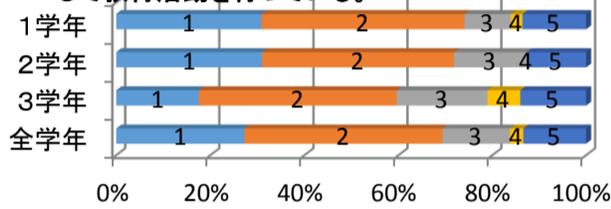
(24)健康診断の実施状況は適切である。



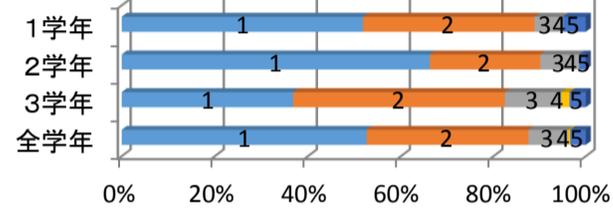
[分析](23)の「保健行事・健康教育」については、「そう思う」という回答が増えた。保健だより等での周知(ホームページにも掲載)の成果と思われる。(24)の「健康診断」についても昨年度と同じく90%程度の肯定的な回答を得た。健康診断の通知等を通して保護者と適切に共有が行われていると考える。

【保護者・地域連携】

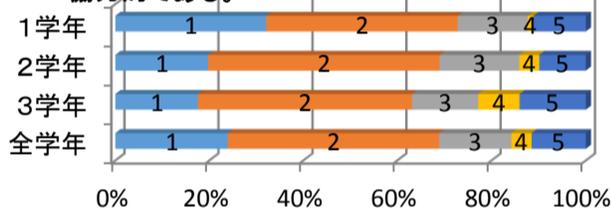
(25)学校は、保護者や地域の方と積極的に連携して教育活動を行っている。



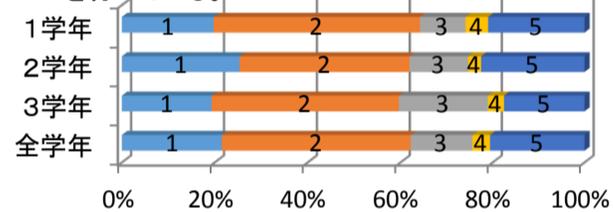
(26)学校は、行事や学校参観、保護者会などを通して子ども達の様子がわかるように工夫している。



(27)保護者や地域の方は、学校の教育活動に協力的である。



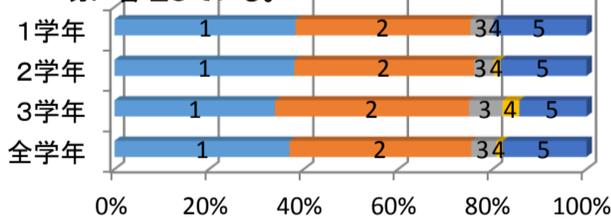
(28)学校は、小学校と適切に連携して教育活動を行っている。



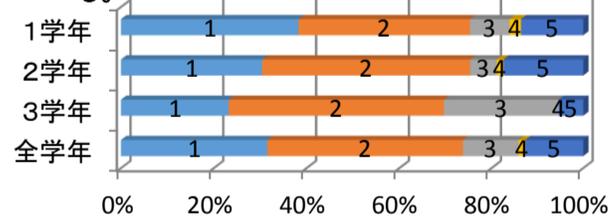
[分析](25)の「保護者や地域の方との連携」については、肯定的な回答が70%と昨年度並みであった。PTAの行事や土曜公開授業でのモニターアンケートが定着したことや保護者との祭礼・地域パトロールや地域の防災訓練への参加などが要因と考える。(26)の「教育活動の公開」については、肯定的な回答が88.4%と高い。例年同様、行事や土曜公開授業の実施や運動会での保護者席をより参観しやすい位置に変更し、スペースも広げたことなどと合わせて全体的に評価されたと考える。(28)の「小学校との連携」については、今年度の1年生の「よくわからない」という回答が21.3%で、昨年度の1年生の40%程度と比べると大幅に低くなった。小学生体験授業など児童・生徒の交流を図っているが、より強い連携につながる取組が必要である。

【その他】

(29)学校では、個人情報を含め、教育活動を適切に管理している。



(30)学校の施設・設備は適切に管理されている。



[分析](29)の「個人情報・教育活動の管理」については、肯定的な回答が75.8%と昨年同様の結果であった。引き続き、個人情報の管理・運営の方針を明確にし、丁寧に説明・対応をしていく。(30)の「施設・設備」については、肯定的な回答が73.4%と昨年度同様の結果であった。今後も整備・修繕・清掃に努める。